

◆ 国道18号

TAKADA KAWAKOKU

Route 18

妙高大橋架替



妙高大橋 上越方面を望む

TAKADA KAWAKOKU



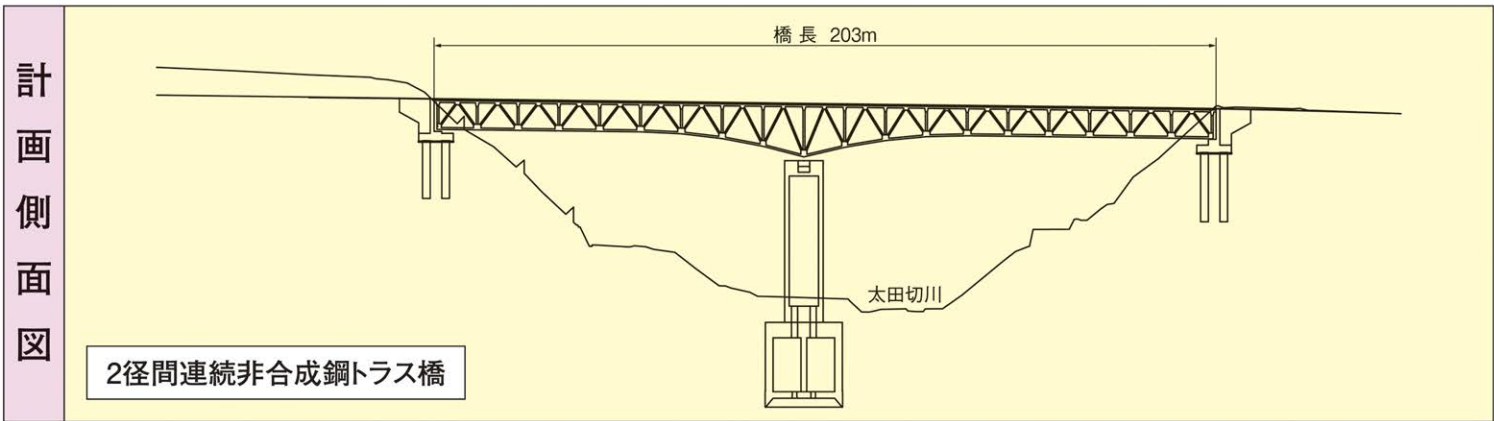
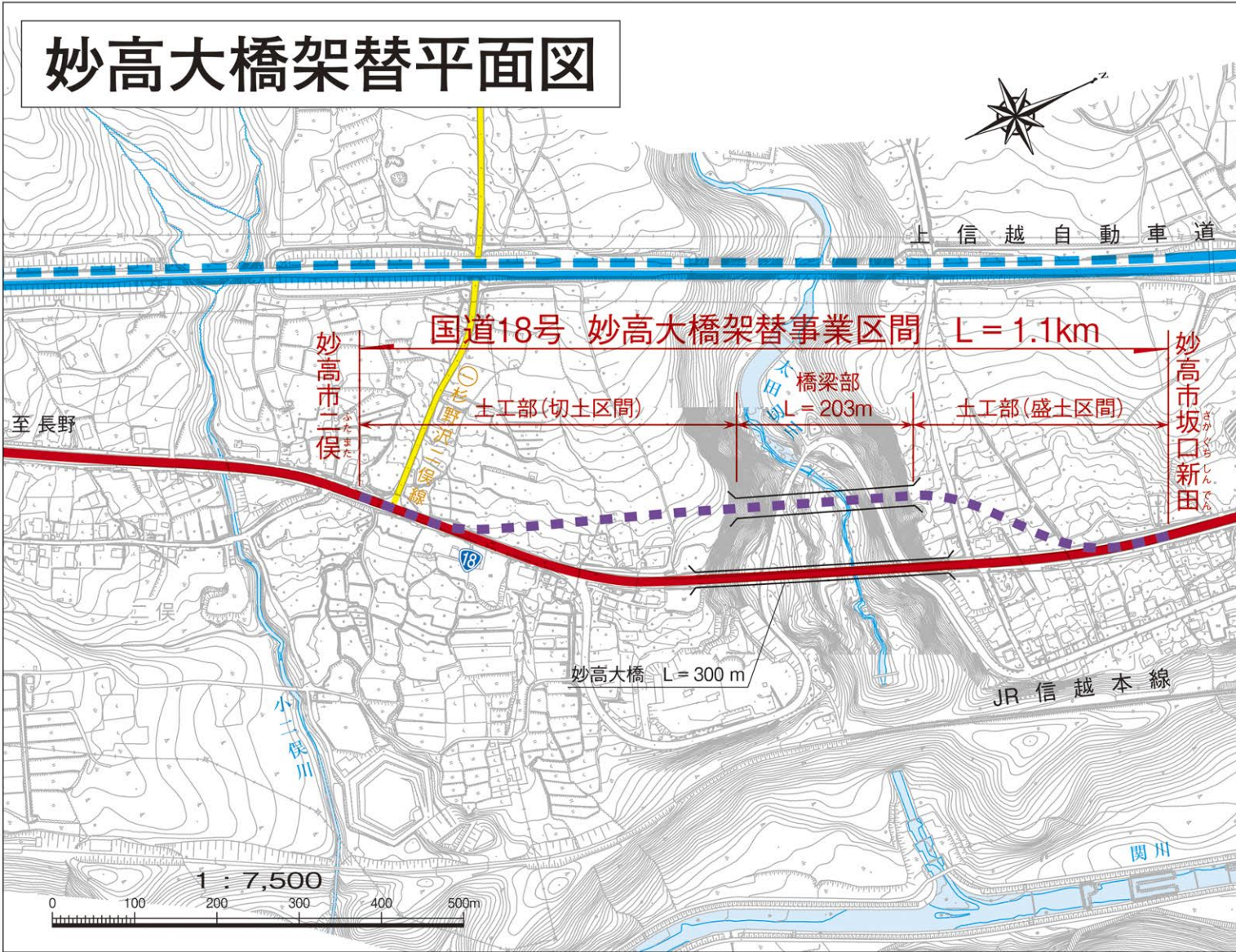
事業の背景及び必要性

妙高大橋は、昭和47年（1972年）に架設されたPC4径間連続箱桁橋で建設から約40年が経過しています。

平成21年の橋梁補修工事の際に、橋梁の上面から侵入した水が原因でコンクリート桁内に配置されているPCケーブルが腐食・破断していることが発見されました。

現在、妙高大橋は、緊急・応急対応として補強ケーブルの設置、橋梁上面の防水対策、精密機器による橋梁の監視強化及びPCケーブルの定期的な調査等を行い、橋を通過する交通の安全を確保しています。

今回、将来への恒久的な安全性を確保するため、現況の妙高大橋を新橋に架替を行うものです。





事業の経緯

平成21年12月	橋梁補修工事でPCケーブルの異常発見
平成22年 2月	保全検討委員会設置
平成 23 年度	応急対応実施
平成 24 年度	事業化

計画の概要

路 線 名	国道18号
起 点 ・ 終 点	妙高市二俣～坂口新田
延 長	L=1.1km
道 路 規 格	第3種第2級
標 準 幅 員	一般部 二 俣 地 区 W=13.5m 坂口新田地区 W=16.0m 橋梁部 W=11.5m
橋 梁 形 式	2径間連続非合成鋼トラス橋



完成予想図

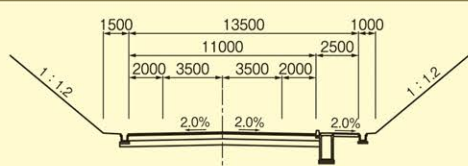


※橋梁はイメージであり、決定したものではありません。

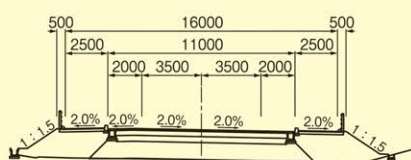
計画標準断面図

土 工 部

切土区間
(二俣)

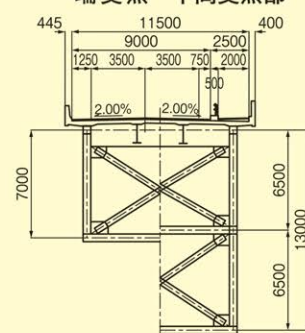


盛土区間
(坂口新田)



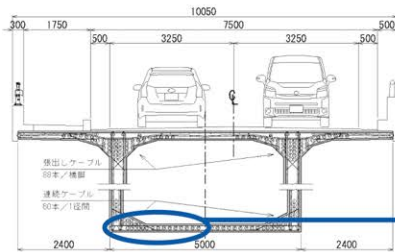
橋 梁 部

端支点 中間支点部



発見された損傷

橋の断面図



コンクリート表面に異常が見られたためはつり調査を実施



コンクリートの中ではPCケーブルが9本破断していた

妙高大橋の緊急・応急対応

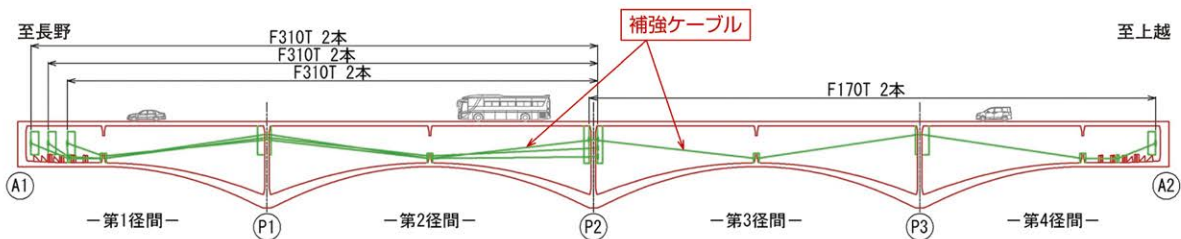
補強ケーブルの設置

箱桁の中に補強ケーブルを設置し、桁の変状に備えました。



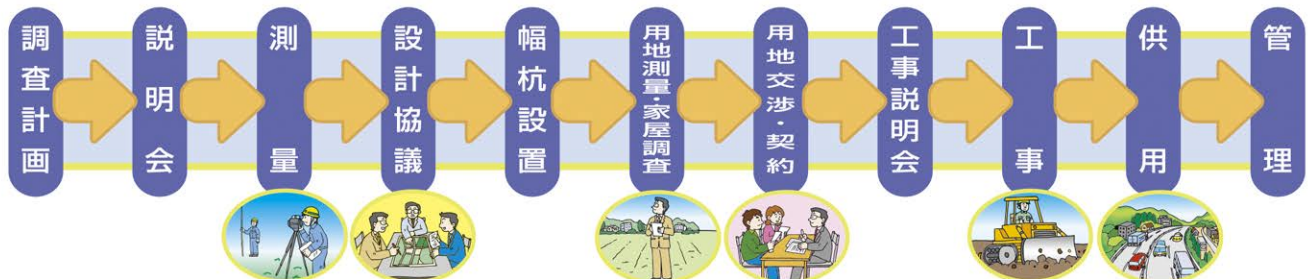
桁の中の補強ケーブル設置状況

補強ケーブル



道路のできるまで

調査から工事、管理までの順序



破断発見からの経過

